

高 校 入 試 (2)

公立高校の入試まであと60日になりました。定期テストが終わり、成績がでて志望校を決定した受験生が多いと思います。しかし、今回の成績結果によって志望校を変更する人もいます。本校の12月の学校説明会には、最終的に本校を志望校とするために最後の説明会に来る受験生と、志望校変更や、まだ志望校を決めかねている受験生が来校します。ただ、同じ公立高校を受検するのであれば、試験問題は同一(但し、定時制課程は異なります)なので、後はどこの高校を志望校にするかだけです。すなわち、机に向かって勉強に励むことに変わりはありません。

皆さんは神奈川県公立高校入試問題の過去問題を解いたことがあると思います。過去問題を解いてみて、現段階の自分の学力が分かりましたか。また、何回かの模擬試験を受けたことで、客観的に現段階の自分の学力が見えたのではないのでしょうか。

どの教科でも共通しているのは、記述式問題ができるか、否かが、高得点への大きな鍵だと思います。さらに、理科では計算問題ができるか、否かが、高得点への鍵とよくいわれています。

例えば、数学の場合は証明問題なら、どのように記せば証明したことになるのか。証明問題が不得手の人は、模範解答を理解して覚えてください。そして過去問題や模擬試験で問題を解く練習をしてください。

英語の場合は、英作文や長文読解などの問題なら、英語の文法を確実に身につけているのか。文法の知識は英作文、長文読解のみならず、書き換え、並び替えでも必要な知識です。そして多く英文を読んで、図や表から情報を読み取る力も必要です。

また、問題文をよく読み、何を問われているのかを理解して答える必要があります。どの教科についても問題の文章、問題文をしっかり読むことが大切です。次に記すのは問題文ではありませんが、「平成29年度神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題 共通選抜 全日制の課程 III数学」の表紙には、注意事項が記されています。その注意事項6には

「6 答えに無理数がふくまれるときは、無理数のままにしておきなさい。根号がふくまれるときは、根号の中には最も小さい自然数にしなさい。また、分母に根号がふくまれるときは、分母に根号をふくまない形にしなさい。」と記されています。

また、国語の学力検査問題の表紙の注意事項には、「6 解答用紙にマス目(例：□□)がある場合は、句読点などそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは

次の行の最初のマス目に書き入れなさい。」>(*実際は縦書き、マス目部分改作)と記されています。検査当日、学力検査問題を配付し、開始前に問題用紙に受検番号、解答用紙に受検番号と氏名を記し、開始合図とともに問題を解きます。しかし、その前に必ず注意事項をよく読んでください。この注意事項を守らなければ、得点が認められなかったり、減点されたりします。注意事項、問題はくれぐれもよく読み、何が求められているのかを考えて解答しましょう。

テストや仕事で、本来できるにも係わらず、注意不足等で間違えたり、失敗したりすることをケアレスミスといいます。ケアレスミスにはマークミスなどもありますがミスのおお半は、問題文を読み間違えてしまうことから起きます。例えば、「番号」・「記号」のどちらで答えるのか、「以下」なのか・「以上」のなのか、という指示を読み間違えずに解答する必要があります。ケアレスミスを発見するには、やはり解く時間以外に、余裕をもって見直しする時間を持つことだと思います。問題を解くのに時間がかかり、見直し時間があまりないとケアレスミスを見つけることができなくなります。過去問題を行うときに、検査時間と同一の時間内で、問題文を読み、解き、見直しまでできるようにしておきましょう。過去問題に慣れておけば、時間配分も掴め、余裕を持って見直しする時間ができると思います。

「できた」と思っても安心しないでください。この気持ちがピットフォール(落とし穴)を生みます。安心せずに見直してください。人間はミスをする生き物です。時間的に余裕があれば最初から見直すことができます。しかし、全ての問題を見直すだけの時間がない場合、スペルミス、カタカナの「シ」と「ツ」の間違い、漢字の間違い、数字の「7」と「9」の書き間違いなど、自分のいままでケアレスミスしてきたものを中心に見直しをするとよいと思います。

ケアレスミスの予防法は、本来、他人にチェックしてもらったり、時間をおいてチェックしたりするのが、典型的な対処法です。しかし、学力検査は自分ひとりで、限られた時間内に見直さなくてはなりません。そこで解答用紙を俯瞰的(解答用紙全体を見渡す)に見ると、間違っている箇所を見つけることができます。とかく問題に集中している時は、視野が狭くて間違いに気づかないことも、少し高くから解答用紙を見ることで発見できます。

最後に、体調管理が上手くできないでケアレスミスを起してしまう場合があります。受験勉強の関係で睡眠時間を十分に確保できなかったり、風邪を引いて具合が悪かったりすると、当然、ケアレスミスが多くなります。体調が優れず、注意力や判断力が低下気味になり、普段なら起きないようなミスをしてしまいます。やはり、学力検査の1ヶ月前からは規則正しい生活を送り、風邪、インフルエンザ、感染性胃腸炎等にならないように努めてください。

もう、あと60日ですが、やれることをやるだけです。学力検査後、「もっと～しておけばよかった」ということのないように過ごしましょう。